

代表質問



藤原 正則 議員(無会)

都区制度の改革について

新たな基本構想の策定について

①基本構想の策定に当たって、区が置かれている社会経済環境をどのように認識しているのか。②策定に臨む基本的な考え方は。③前回の策定から区を取り巻く状況は大きく変化したか、どのような変化を重要と考えるのか。④都区制度改革と、新しい基本構想との関連等は。

企画部長

①少子高齢化に伴い人口構成が大きく変化し、家庭や地域の様相が変わってきたなど。②より適切で効果的な政策選択を通して区民の期待にしっかりとこたえる。③区政運営の面では、都区制度改革が挙げられるなど。④構想策定に反映できるように全力を挙げる。

明日の品川に向けた施策について

①次世代育成支援策推進行動計画の実績等は。②区の



しながわ花海道菜の花マラソン

幼保一体施設については、国の施策「認定こども園」への申請をしないのか。③過去3年間の保育園への入園申込者数等を伺う。④区内に子育て世代の増加が見込まれると考えるが対策は。⑤学校のプールの排水口の吸い込み防止等への安全対策は。⑥昨年からの実施している通学安全監視事業の検討課題等は。⑦「まもるちち」の今までの指導内容等をまとめ、保護者の協力等を得ることに役立てては。⑧団塊の世代について認識は。⑨地域活動を担ってもらうための施策は。⑩区の職員も大量の退職を迎えるが対策は。⑪まちづくりを進める意義等を伺う。⑫ごみの各戸収集の効果等について伺う。⑬在宅介護支援センター等へ相談に行かずに頑張っている世帯の状況をどのような方法で把握しているのか。⑭高齢者への虐待の実態等は。⑮特別養護老人ホームについての施設整備の考え等を伺う。⑯中小企業の景気動向等についての認識は。⑰最近の商店数や工場数の変化をどうとらえるのか。⑱一番店発見プロジェクトの継続を。⑲昨年度末に策定した都市型観光アクシヨンプランの先行事業として「まち歩き」を実施したが評価等は。

児童保健事業部長

①重点事業を中心に、強力かつきめ細かく子育て支援の実績を上げてきた。②あえて認定こども園に位置づけるよりも、区の独自性を貫く施設としてさらに充実をさせる。③1千150人から1千200人程度で推移している。④多様な方策を組み合わせて、子育て家庭の期待に

こたえるよう努める。教育次長 ⑤昨年、すべての工事を終了させた。⑥「83運動」との連携を視野に入れるなど。⑦関係部署等との連携のもとで検討する。

福祉高齢事業部長

①さまざまなキャリアを持ち、前向きで活動意欲が高いなど。②「いきいきラボ関ヶ原」をオープンしたなど。③「品川区人材育成基本方針」を策定し、着実に人材を育成する。④高齢者相談員が高齢者世帯等へ訪問しているなど。⑤18年度は12月末までで25件の相談、通報があった。⑥一

一般質問



藤田 二郎 議員(公明)

身近な環境活動の推進と清掃事業について

①環境活動推進会議の活動内容等を伺う。身近な地域で人材を登用し活動のすそ野を広げることや、参加しやすい工夫が大切では。②環境活動情報センターは利用しやすい工夫をし、環境活動に取り組み人たちの情報交換やミニ講座の実施が大切では。③区内事業者に参加を呼びかけ、「品川環境事業者会議」を開催しては。④定期的な「家庭エコライフセミナー」の開催や、広報紙などによる意識啓発により、家庭エコを着実に進めては。⑤公共施設については「施設エコ推進検討会」を設け、全庁的な視点で具体的な方策を示すべきでは。⑥粗大ごみ収集の実態は。利

定の水準が確保できていると考えている。まちづくり事業部長 ⑨まちの安全性や機能性、快適性を向上させながら、その調和を図ることだ。

環境清掃事業部長

⑩ごみ減量の効果が出ているなど。⑪区民生活事業部長 ⑫緩やかな回復の局面にありながらも、依然として厳しい状況にあるものと認識する。⑬不況による廃業や地方等への移転、後継者難から減少傾向にある。⑭来年度も実施していく予定だ。⑮モデル事業として成功したと考えている。

業の実態を踏まえ、全庁的な仕組みを構築し、進める。⑯地区ごとに曜日を決めて収集しているなど。⑰希望する日の収集については、具体的に検討を進める。

新・水とみどりのネットワーク構想と街づくりについて

①「新・水とみどりのネットワーク構想」の具体化に向けた進め方などは。②まちづくりを進めるにあたり、再開発組合と行政が協力してきれいな目黒川を創出し、水辺を楽しめるイベントの実施を。③区内に残された貴重な自然を守るため、生物の多様性と生態系を守る取り組みが大切だ。ボランティア制度を創設し、多くの人が活動できる仕組みと、地域の自主性を尊重した管理運営を。④道路などの緑被率アップの工夫を。⑤東京湾に面するコンテナヤード地域などに高木を植栽し「品川の森」として区民の憩いの場を創設するよう、都などに要請を。

区長

①ネットワーク構想の素案に対する区民の意見を公募し、その結果を踏まえて構想を取りまとめ、推進プランに生かす。②提案の趣旨が生かせるよう「まちづくり協議会」と十分に意見交換する。③現在、ボランティア活動をすすめている皆さんと活動の持続性の確保について検討する。また、活動体制を知ってもらうための環境講座の開催や、区民の方から寄せられた情報をホームページで紹介するなどの方策も検討している。④区みずから拡大に努めつつ、

引き続き都などの他団体にも要請していく。⑤都や事業者などに、ご提案の趣旨を生かせるよう検討を要請する。

元気な「高齢者主張大会」の開催と高齢者施策について

①「高齢者主張大会」の開催を。②シルバーセンターは多目的なメニューに使える施設に改修を。③自分史づくりに、専門家のアドバイスなどを受けられるようにしては。④高齢の外国人が行事などに参加できるように、地域版情報英字紙の作成などを。

福祉高齢事業部長

①シルバーバー成年式の取り組みの中でご提案の趣旨を生かすなど。②利用者の声を踏まえ改修を進める。③生涯学習の場などで実施できるよう調整する。④現在、英字広報を発行しており、地域版の発行などは今後の課題としたい。

品川「絵手紙コンクール」の開催について

①自然や街等をテーマに絵手紙コンクールを開催しては。区民生活事業部長 ①検討していく。

委員会構成の変更がありました

1月25日に開かれた議会運営委員会で須藤安通委員が委員長に決まりました。また、2月23日の本会議において、林宏議員と菊地貞二議員が議会運営委員に選任されました。